

介護現場のニーズをふまえたロボットの開発に向け、企業のエントリーを開始

※
ロボットを活用して
解決したい課題がある…

NEEDS

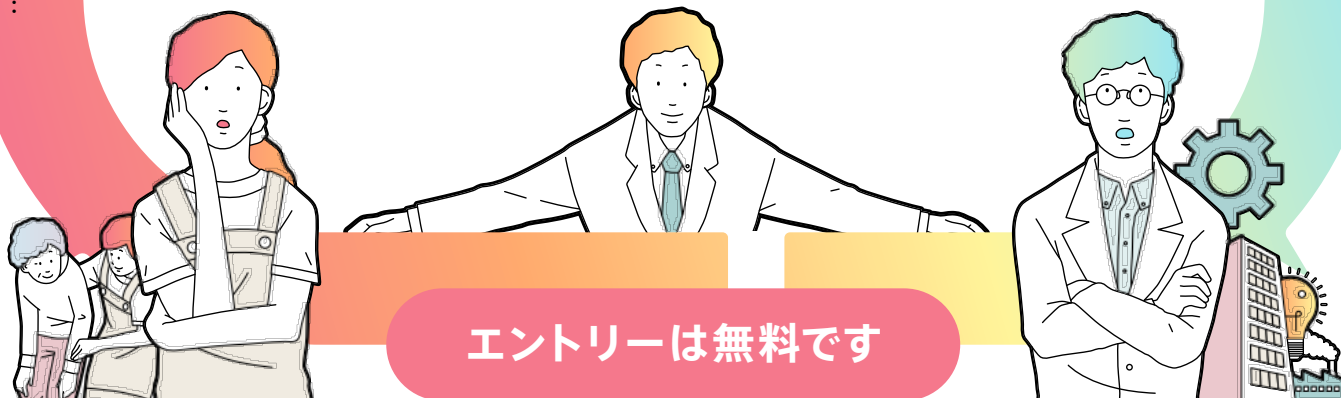
SEEDS

そんな全国の開発企業の皆様へ

ニーズ × シーズ

新しい介護イノベーションはここから生まれる

自社の持つ技術を
生かせる介護現場の
ニーズが知りたい…



エントリーは無料です

厚生労働省は介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調のための協議会（以下、「協議会」）を各都道府県に設置し、着想段階から開発企業と介護現場が協議を行うことで、介護施設などにおいて解決すべき課題（ニーズ）と、現場ニーズを反映したロボット案を取りまとめました。この事業は、協議会で抽出された介護現場のニーズやロボット案と、開発企業が保有する製品や要素技術等のマッチングを支援する事で、介護現場の真のニーズを汲み取ったロボットの開発を促進するものです。

※本事業では、ロボット技術の介護利用における重点分野（6分野13項目）に限定せず、介護現場で必要となるテクノロジーを広く対象としています。



介護現場のニーズの紹介

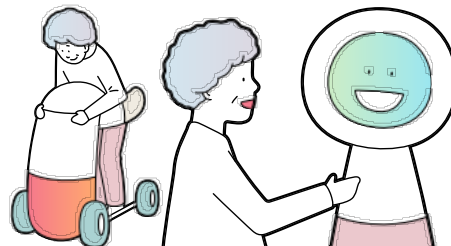
協議会にて抽出された様々な介護現場のニーズと、ニーズを反映したロボット案を、開発企業が理解しやすいようにリスト化し、一般公開しています。このリストに対して興味・関心を持つ企業を募集し、ニーズとのマッチングを支援します。



ニーズのリストには、介護業務における様々な課題が含まれており、それぞれに調査結果に基づくニーズの具体的な内容（対象者、場面、あるべき姿等）や、専門家のコメント等が記載されています。



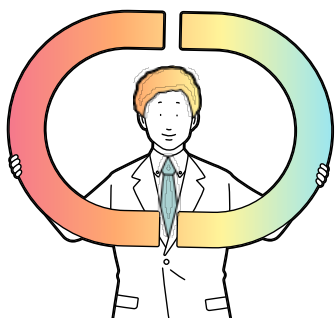
ロボット案の紹介



ロボット案のリストには、必要な機能要素技術、ロボット導入による効果、既存機器との相違点、技術開発を行う上での課題、ロボットイメージ、専門家のコメント等が記載されています。



マッチング支援の体制



マッチングサポーター・マッチング委員会による支援

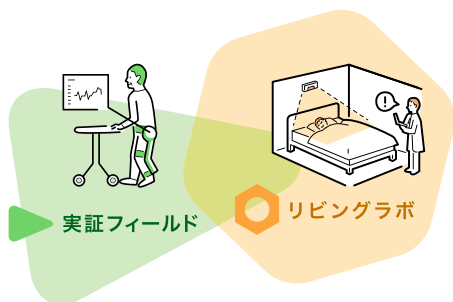
エントリー企業は、希望に応じて介護現場やロボット技術の専門家であるマッチングサポーターから、介護現場のニーズについて詳しく聞いたり、ロボットの開発について助言を得ることができます。ニーズを取りまとめた介護施設や協議会に直接ヒアリングする事も可能です。

更に、マッチング委員会(※)の中で、エントリー企業の技術が活用できるニーズやロボットについて検討し、そのニーズや技術をもつ他エントリー企業を紹介します。

※介護・リハビリテーション・ロボット・福祉用具等に関する業界団体やアカデミアで構成

リビングラボ・実証フィールドによる支援

本事業は、介護ロボットの開発実証普及のプラットフォーム事業の一貫として行われています。ロボットの安全性・効果の検証や実証に関する支援を希望する企業は、同事業に参画する全国8箇所のリビングラボに相談することができます。更に、同事業に登録している実証協力施設(実証フィールド)を活用し、実証試験を実施することも可能です。



マッチング支援の流れ

企業エントリー

企業情報と希望する支援内容を、エントリーフォームに記載します。

※介護ロボットを既に開発している企業に加え、介護ロボット業界に現時点で参入していない企業や、要素技術を有する企業からも広く募集しています。

介護現場のニーズや ロボット案の詳細を把握 (マッチングサポーターへ取り次ぎ)

エントリー企業が注目するニーズやロボット案についてマッチングサポーターにヒアリングしたり、自社の技術や製品について意見を求めることができます。

※介護施設や協議会へ直接ヒアリングを行うことも可能です。
※マッチング委員会において、エントリー企業が持つ技術の活用が有効と考えられるニーズやロボットについて検討し、希望に応じてそのニーズや技術をもつ他エントリー企業を紹介・提案します。

マッチングサポーター・ リビングラボによる 継続支援

企業の希望に応じて、マッチングサポーターが継続的に助言を行ったり、リビングラボに取り次いでロボットの効果検証や実証支援を行います。

本事業に関するお問い合わせ先

事務局 株式会社NTTデータ経営研究所
Email: ns-plat@nttdata-strategy.com

本事業の詳細情報について

ホームページ
<https://www.kaigo-ns-plat.com/>

